



山形市立金井中学校  
学校だより  
令和6年5月29日発行

## 令和6年度生徒会スローガン 『共創』 一步先へ

5月2日(木)生徒会総会において、本年度の生徒会スローガンと活動目標、各委員会の活動内容を話し合い決定しました。

スローガン「共創」には、様々な立場の人たちが対話しながら新しいものを作り出すという意味を込め、一人一人が活動の意味を理解し、全員で協力し、高め合っていく金井中を築き上げていく決意の言葉です。



そして、サブスローガン「一步先へ」には誰一人として取り残されず、今の自分たちより一步先へ歩みを進めていこうという思いが込められています。

さらに、コロナ禍以前の活動を知らない私たちだからこそ、先輩方が見つないできた伝統、新しく創った伝統を引き継ぎ、共に新たな金井中を創造していこうという思いも込めています。

金井中をつくっていくのは、私達一人一人です。気概と熱意をもって取り組んでいきましょう。

### 資源回収 ご協力ありがとうございました



5月26日(日)保護者や地域の方々のご協力のもと、資源回収を行うことができました。

古紙や段ボール、空き瓶やアルミ缶などをまとめ、住居前に置いてくださった地域の皆さま。車を提供し地域を回り積み込みを行ってくださった保護者の皆さま。収集場所で荷出しや回収作業を行ってくださった保護者の皆さま。早朝からの作業にご協力いただきありがとうございます。

地域の学校として支えられていることを、資源回収を通して生徒も実感することができました。得られた収益は、責任をもって学校教育活動に有効活用させていただきます。

## 創立77周年記念式

昭和22年(1947年)4月30日、東村山郡金井村立金井中学校として創立された私達の学校も、今年創立77周年を迎えました。

山田博志校長の式辞、安達良一同窓会長の祝辞において、これまでの先輩方の歩みを知ることができました。

今年度は、記念講演として金井中の先輩であり山形市議会議員の中川智子様より講話をいただきました。演題は『世界に誇れる山形市と金井地区の魅力』。金井地区の桜つつみや嶋遺跡公園、文化創造都市山形市の鑄物文化や山形五堰、医療先進地域としての高度医療などについて紹介していただきました。



大人になっても心は山形に。自分の住む町に誇りをもっていきましょう。

